



端末設定とセッションの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- [端末設定とセッションの概要 \(1 ページ\)](#)
- [端末設定とセッションのライセンス要件 \(3 ページ\)](#)
- [コンソールポートの設定 \(3 ページ\)](#)
- [仮想端末の設定 \(5 ページ\)](#)
- [モデム接続の設定 \(7 ページ\)](#)
- [ターミナルセッションのクリア \(10 ページ\)](#)
- [端末およびセッション情報の表示 \(10 ページ\)](#)
- [ファイルシステムパラメータのデフォルト設定 \(11 ページ\)](#)
- [端末設定とセッションに関する追加情報 \(11 ページ\)](#)

端末設定とセッションの概要

ここでは、端末設定とセッションの概要について説明します。

ターミナルセッションの設定

Cisco NX-OS ソフトウェア機能では、端末の次の特性を管理できます。

端末タイプ

リモートホストと通信する際に Telnet で使用される名前

長さ

一時停止する前に表示されるコマンド出力の行数

幅

行を折り返す前に表示される文字数

非アクティブセッションのタイムアウト

デバイスによって停止される前にセッションが非アクティブの状態で行われる分数

コンソールポート

コンソールポートは非同期のシリアルポートで、初期設定用に、RJ-45 コネクタを使用して標準 RS-232 ポート経由でデバイスに接続できます。このポートに接続されるデバイスには、非同期伝送の機能が必要です。コンソールポートには、次のパラメータを設定できます。

データビット

データに使用するビット数を 8 ビットのバイト単位で指定します。

非アクティブセッションのタイムアウト

セッションが終了になるまでの非アクティブ時間を分単位で指定します。

パリティ

エラー検出用の奇数パリティまたは偶数パリティを指定します。

速度

接続の送信速度を指定します。

ストップビット

非同期回線に対するストップビットを指定します。

ターミナルエミュレータは、9600 ボー、8 データビット、1 ストップビット、パリティなしに設定してください。

仮想端末

仮想端末回線を使用して、Cisco NX-OS デバイスを接続できます。セキュアシェル (SSH) および Telnet は、仮想ターミナルセッションを作成します。仮想端末の非アクティブセッションタイムアウトおよびセッション数の上限を設定できます。

モデムのサポート

モデムはスーパーバイザ 1 モジュールのコンソールポートにのみ接続できます。Cisco NX-OS ソフトウェアが動作するデバイス上で、次のモデムがテスト済みです。

- MultiTech MT2834BA (http://www.multitech.com/en_us/support/families/multimodemii/)
- Hayes Accura V.92 (http://www.zoom.com/products/dial_up_external_serial.html#hayes)



(注) デバイスの起動中は、モデムを接続しないでください。デバイスの電源がオンになってから、モデムを接続します。

Cisco NX-OS ソフトウェアには、接続されたモデムを検出するためのデフォルトの初期化ストリング (ATE0Q1&D2&C1S0=1'015) があります。このデフォルトストリングの定義は次のとおりです。

AT

Attention

- E0 (必須)
エコーなし
- Q1
結果コードを有効化
- &D2
通常のデータ端末動作可能 (DTR) オプション
- &C1
データ キャリア状態の追跡がイネーブル
- S0=1
1 回の呼び出し音の後に応答
- \015 (必須)
8 進数の復帰 (CR) コード

端末設定とセッションのライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

製品	ライセンス要件
Cisco NX-OS	端末設定の設定にライセンスは必要ありません。ライセンス パッケージに含まれていない機能はすべて Cisco NX-OS システムイメージにバンドルされており、追加費用は一切発生しません。Cisco NX-OS のライセンス方式の詳細については、を参照してください。

コンソール ポートの設定

コンソール ポートに対して次の特性を設定できます。

- データ ビット
- 非アクティブセッションのタイムアウト
- パリティ
- 速度
- ストップ ビット

始める前に

コンソール ポートにログインします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	line console 例： switch# line console switch(config-console)#	コンソール コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	databits bits 例： switch(config-console)# databits 7	1 バイトあたりのデータ ビット数を設定します。指定できる範囲は 5 ～ 8 です。デフォルト値は 8 です。
ステップ 4	exec-timeout minutes 例： switch(config-console)# exec-timeout 30	非アクティブセッションのタイムアウトを設定します。有効値は 0 ～ 525600 分 (8760 時間) です。0 分の値を設定すると、セッションタイムアウトはディセーブルになります。デフォルトは 30 分です。
ステップ 5	parity {even none odd} 例： switch(config-console)# parity even	パリティを設定します。デフォルトは none です。
ステップ 6	speed {300 1200 2400 4800 9600 38400 57600 115200} 例： switch(config-console)# speed 115200	送受信の速度を設定します。デフォルトは 115200 です。
ステップ 7	stopbits {1 2} 例： switch(config-console)# stopbits 2	ストップビットを設定します。デフォルトは 1 です。
ステップ 8	exit 例： switch(config-console)# exit switch(config)#	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 9	(任意) show line console 例： switch(config)# show line console	コンソールの設定値を表示します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 10	(任意) copy running-config startup-config 例 : <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

仮想端末の設定

ここでは、Cisco NX-OS デバイスで仮想端末を設定する方法について説明します。

非アクティブセッションタイムアウトの設定

Cisco NX-OS デバイスでは、仮想ターミナルの非アクティブセッションのタイムアウトを設定できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	line vty 例 : <pre>switch# line vty switch(config-line)#</pre>	ライン コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	exec-timeout minutes 例 : <pre>switch(config-line)# exec-timeout 30</pre>	VDC に対する有効値は 0 ~ 525600 分 (8760 時間) です。0 分の値を設定すると、タイムアウトはディセーブルになります。デフォルト値は 30 です。
ステップ 4	exit 例 : <pre>switch(config-line)# exit switch(config)#</pre>	ライン コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 5	(任意) show running-config all begin vty 例 :	仮想端末の設定を表示します。

	コマンドまたはアクション	目的
	<code>switch(config)# show running-config all begin vty</code>	
ステップ 6	(任意) copy running-config startup-config 例： <code>switch(config)# copy running-config startup-config</code>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

セッション制限の設定

Cisco NX-OS デバイスでは、仮想ターミナルセッションの数を制限できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： <code>switch# configure terminal</code> <code>switch(config)#</code>	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	line vty 例： <code>switch# line vty</code> <code>switch(config-line)#</code>	ラインコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	session-limit sessions 例： <code>switch(config-line)# session-limit 10</code>	Cisco NX-OS デバイス向けの仮想セッションの最大数を設定します。有効な範囲は1～60です。デフォルト値は32です。
ステップ 4	exit 例： <code>switch(config-line)# exit</code> <code>switch(config)#</code>	ラインコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 5	(任意) show running-config all begin vty 例： <code>switch(config)# show running-config all begin vty</code>	仮想端末の設定を表示します。
ステップ 6	(任意) copy running-config startup-config 例：	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

	コマンドまたはアクション	目的
	<code>switch(config)# copy running-config startup-config</code>	

モデム接続の設定

コンソールポートにモデムを接続できます。

モデム接続のイネーブル化

モデムを使用する前に、ポートでモデム接続をイネーブルにする必要があります。

始める前に

コンソールポートにログインします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： <code>switch# configure terminal</code> <code>switch(config)#</code>	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	line console	コンソール コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	modem in	ポート上のモデム入力をイネーブルにします。
ステップ 4	exit	コンソール コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 5	(任意) show line 例： <code>switch(config)# show line</code>	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 6	(任意) copy running-config startup-config 例： <code>switch(config)# copy running-config startup-config</code>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

デフォルトの初期化ストリングのダウンロード

Cisco NX-OS ソフトウェアによって、モデムと接続するためにダウンロードできるデフォルトの初期化ストリングが提供されます。デフォルトの初期化文字列は ATE0Q1&D2&C1S0=1\015 です。

始める前に

コンソール ポートにログインします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	line console	
ステップ 3	modem init-string default	デフォルトの初期化ストリングをモデムに書き込みます。
ステップ 4	exit	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(任意) show line 例： switch(config)# show line	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 6	(任意) copy running-config startup-config 例： switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

ユーザ指定の初期化ストリングの設定およびダウンロード

デフォルトの初期化ストリングがお使いのモデムと互換性がない場合、独自の初期化ストリングを設定したり、ダウンロードしたりすることができます。

始める前に

コンソール ポートにログインします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	line console	
ステップ 3	modem set-string user-input string	コンソール ポートのユーザ指定の初期化文字列を設定します。この初期化ストリングは、最大 100 文字の長さの英数字で、大文字と小文字が区別され、特殊文字を含むことができます。 (注) ストリングを初期化する前に、まずユーザ入力のストリングを設定する必要があります。
ステップ 4	modem init-string user-input	コンソール ポートに接続されたモデムにユーザ指定の初期化文字列を書き込みます。
ステップ 5	exit	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 6	(任意) show line 例 : switch(config)# show line	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 7	(任意) copy running-config startup-config 例 : switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

電源がオンになっている Cisco NX-OS デバイスのモデムの初期化

電源がオンになっている物理デバイスにモデムを接続する場合、モデムを使用する前に初期化する必要があります。

始める前に

Cisco NX-OS デバイスがブートシーケンスの実行を完了し、システムイメージが実行されるまで待った後、デバイスのコンソールポートにモデムを接続します。

ポートでモデム接続をイネーブルにします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	modem connect line console } 例 : switch# modem connect line console	デバイスに接続されたモデムを初期化します。

ターミナルセッションのクリア

Cisco NX-OS デバイスのターミナルセッションをクリアできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) show users 例 : switch# show users	デバイスのユーザセッションを表示します。
ステップ 2	clear line name 例 : switch# clear line pts/0	特定の回線上の端末セッションをクリアします。回線名では大文字と小文字が区別されます。

端末およびセッション情報の表示

端末およびセッション情報を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
show terminal	端末設定を表示します。
show line	コンソールポートの設定を表示します。
show users	仮想ターミナルセッションを表示します。

コマンド	目的
<code>show running-config [all]</code>	実行コンフィギュレーションのユーザアカウント設定を表示します。 all キーワードを指定すると、ユーザアカウントのデフォルト値が表示されます。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの『Cisco Nexus Command Reference Guide』を参照してください。

ファイルシステムパラメータのデフォルト設定

次の表に、ファイルシステムパラメータのデフォルト設定を示します。

表 1: デフォルトのファイルシステム設定

パラメータ	デフォルト
デフォルトファイルシステム	bootflash:

端末設定とセッションに関する追加情報

ここでは、NX-OSデバイスでの端末設定とセッションに関する追加情報について説明します。

端末設定とセッションの関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
ライセンス	『Cisco NX-OS Licensing Guide』
コマンドリファレンス	『Cisco Nexus 3000 Command Reference』

